

## 2019年度 施策マネジメントシート【2018年度実績評価】

作成: 2019年 6月 14日

施策番号 4-1-3	施策名 青少年の健全育成	基本目標 個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり 政策名 豊かな心を育む人づくりの推進
主管課 施策関係課	社会教育課	課長名 日下 勝祐 内線 517

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
青少年が、社会のルールを身につけることが出来るような体験学習への参加や団体の連携などを促進し、健全育成をすすめます。		町民		団体行動や社会生活を学び、社会のルールを身につける			自ら判断する力や責任感が身につけられる	
成果指標		説明		単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標
① 芽室町の小中学生は基本的ルールを身につけていると感じる町民の割合		住民意識調査		%	40.7	56.7	58.8	45.0
②								
③								
成果指標 設定の考え方	平成25年度実績で計画策定時の目標に到達しているが、青少年の健全育成に関わることから、引き続き45%以上を維持する。							

## 2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費（千円）	7,236	6,051
人工数(業務量)	1.1315	0.9607

## 3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	既に目標は達成しているが、更に青少年健全育成協議会をはじめとする関係団体の連携による事業展開が要因。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	目標は達成できた。 児童生徒を対象とした集団での野外活動体験や、宿泊体験の実施、友好都市や国際姉妹都市との交流体験などの実施による。 また、青少年健全育成協議会やPTA連合会などの積極的な活動と学校、地域との連携が図られたことが要因。
(2)施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	少年教育活動運営事業 青少年健全育成協議会支援事業 地域子ども会育成連絡協議会支援事業 芽室町PTA連合会活動支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・青少年健全育成のための関係機関の連携強化 →青少年健全育成協議会では、PTA連合会と教育委員会とともに「芽室町スマホ・ケータイ・ネット親子のルール宣言」を策定し、周知、啓発活動を実施した。また、各中学校の生徒会に働きかけ、生徒会活動でこの宣言内容について積極的に意見交換をしてもらう機会を得た。 ・基本的生活習慣など青少年健全育成 →「通学合宿めむろ塾」や夏・冬休みに開催している「寺子屋めむろ」など、団体生活や体験学習を通じ、発達段階に応じた生活習慣や社会ルールを身につける事業展開が施策の成果向上に繋がった。		

### (3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

A:実現した

B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した

C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した

D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない

E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域子ども会活動では、休会となる町内会が増加。</li> <li>子どもの減少、育成指導者のなり手不足に伴う活動団体数の減少。 →複数町内会など広域的な活動のあり方を検討。</li> <li>市街地町内会連合会や商工会等との連携事業の検討。</li> <li>→コミュニティスクールの取組みによる地域学校協働活動におけるサポート事業の検討。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	子ども会組織の減少に対する支援策の検討。

### 5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

- ネットトラブル等に対する青少年健全育成
  - 青少年健全育成協議会では、PTA連合会と教育委員会とともに「芽室町スマホ・ケータイ・ネット親子のルール宣言」を策定。今後さらに周知、啓発活動の取組強化を図る。
- 基本的な生活習慣や多様な体験活動の推進
  - 青少年の教育活動(わんぱくキャンプ、通学合宿など)で、基本的な生活習慣とともに食育の観点も取り入れた事業の充実。
- コミュニティスクールの取組み
  - 地域学校協働活動の推進により、学校・家庭・地域・行政の連携による事業の推進。

### 6. 総合計画推進委員会(府内評価)

評価	指標は向上・達成しており、地域や関係機関と連携強化を図りながら積極的に取組を進めていることから、大きく前進したと評価する。	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	今後も計画に基づき取り進めてもらいたい。	進捗結果	○			

A:実現した

B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した

C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した

D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない

E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	子どものネット・ゲーム利用など、まだ普及啓発が必要な取組はあるが、町としてやるべきことは積極的に取り組んでいる。	A	B	C	D	E
進捗結果	○					
今後の取組に対する意見	子どものネット利用について、親に対する支援や学習会など、具体的な対応の啓発も行ってほしい。	A:実現した	B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した	C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した	D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない	E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した